

今求められる地域のマネジメント ～先進事例から考える～



国立大学法人宮崎大学 地域資源創成学部

教授・副学部長（教務）

根 岸 裕 孝



略歴

栃木県出身 1966年生まれ 博士（経済学）（九州大学）
1992年 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了
同年 (財)日本立地センター研究員
2001年 宮崎大学教育文化学部講師・助教授・准教授を経て
2016年 同 地域資源創成学部へ配置換（地域経営担当）
2018年 同 教授 副学部長（研究担当）
現在 同教授・副学部長（教務担当）

■これまでの社会的活動・審議会委員等

内閣府地域再生推進委員会委員

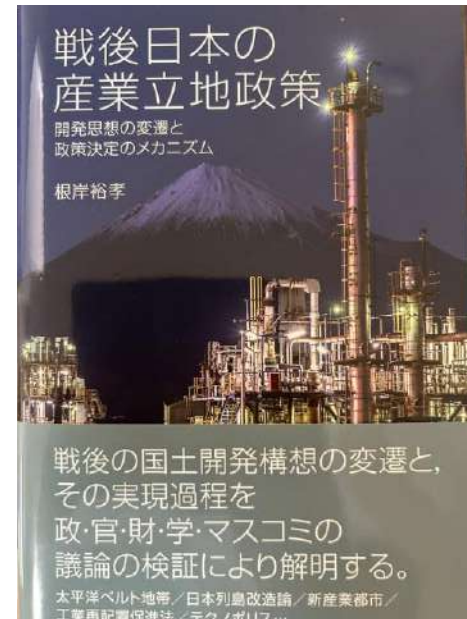
国土交通省道路局道の駅有識者懇談会委員

同省 九州圏広域計画有識者懇談会委員

宮崎県総合計画審議会産業部会長

宮崎県観光審議会委員（会長代理）

宮崎県立図書館利用者協議会議長 等々



○現在の専門・学会等

学部・大学院の担当：**地域経営論**

もともとは**経済地理学**における**政策**領域

主な学会での役職

○ 実践経営学会（会員数 約300名）
（常任理事 九州支部長）

○ 経済地理学会（会員数 約700名）
（元西南支部代表幹事 2017.5～2021.5）

→**経済地理学・経営学からの視点でRMOについてコメント**

本日の流れ

○自己紹介

○私と東米良・銀鏡との関わり

○注目！「東米良創生会」

○地域RMOの先進地（高知県）

○先進事例から見えたこと

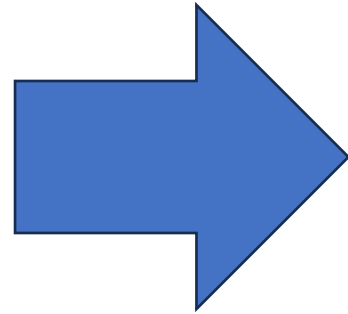
キーワード：サーバントリーダーシップ

自走力 伴走力 地域力

○地方創生の成功モデル：地域バリューチェーン

事例からみる地域RMOのパワーアップとは

自走力
+
伴走力



地域力

平成24年度宮崎県「新しい公共推進モデル事業」 「銀鏡・上揚地区自立促進事業」

■東米良の現状と課題 (NPO法人iさいとホームページより)

- 西都市東米良の銀鏡（しろみ）・上揚（かみあげ）地区
111世帯・約230人が住んでいる山村。

65歳以上の高齢化率が55%（平成24年3月31日）、過疎化と高齢化が進行。

- 雇用の場の確保、学校の存続（銀上小学校・銀鏡中学校では、山村留学を実施）、伝統文化（銀鏡神楽など）の継承、豊かな自然・農産物の鳥獣被害、集落の荒廃などの課題を抱えています。

・さらに、それぞれの風土に寄り添い、作り上げてきた生活の知恵や文化が消え去ろうとしています。

■誰でもが安心して暮らし続けられる地域をめざして

「銀鏡・上揚地区自立促進事業協議体」の設立

特定非営利活動法人 iさいと

- 東米良地域づくり協議会、有限会社 プラネットノア、西都市、宮崎大学

資料) NPO法人iさいと

<http://isaito.net/isaitoflat/siromi/hitamageta-top.html> 20231124アクセス

2012年7月21日(土)22日(日) 宮崎大学准教授、映画監督、NPO等の専門家等が現地へ



<地域資源の探訪>
7月21日お昼から、あいにくの天気の中、銀鏡・上揚地区に点在する魅力的な名勝や史跡を探訪しています。

<いまこそ銀鏡、上揚の復活>

7月21日午後7時から銀鏡公民館で、宮崎大学根岸准教授の「いまこそ銀鏡、上揚の復活」地域活性化の講座がありました。その後、5つのグループに分けて住民との対話と交流。
住民参加者38名（男性18名・女性20名）



<ものづくり体験-1>
東米良巧の会の指導者の下、地元住民と一緒にわらそうりづくりに挑戦中。

<地域住民と車座となった対話や交流>



銀鏡神社の清砂武昭さんも参加して、銀鏡神社の歴史などを談笑しました。



<地元料理の試食会-1>
銀鏡・上揚地区の婦人部が、地元食材を活用したヘルシー山村料理の試食会を開催しました。

<地元料理の試食会-2>

婦人部が創製工夫した多数の山村料理が提供されて、参加した専門家なども大感激しました。



ひったまげたプロジェクト

■ ひったまげたプロジェクト

- 銀鏡・上揚地区の住民を対象にした説明会を開催するに至って、**楽しく、かつ、わくわくすることが連想できれば、住民の理解や協力を得やすくなり、参加者も増えるのではないかと**期待して「ひったまげたプロジェクト」と名づけました。

西都市東米良銀鏡地区



銀鏡川



ゆず畑



豊かな自然・伝統芸能
食文化などの宝に溢れる
『銀鏡・上揚』へようこそ！



資料) NPO法人iさいと
<http://isaito.net/isaitoflat/siromi/hitamageta-top.html> 20231124アクセス

資料) NPO法人iさいと <http://isaito.net/isaitoflat//siromi/hitamageta-20120818.html> 20231124

<焼き畑>

昨年の上揚地区に続き、今年は銀鏡地区でも半世紀（50年）ぶりに焼き畑を始めています。ただし、今年の夏は天候不順で実施が危ぶまれましたが、どうにか焼き畑を行うことができました。



今回の参加者11名と地元住民の共同作業で山の斜面に火を入れました。

焼き畑は、事前に斜面の樹木などを伐採し、当日枯れ草などと一緒に燃料にして土壌を燃やし、種まき作業までを行う予定でした。



2012年10月6日（土）7日（日）8日（月）モニター体験で大学生が現地に入る



<59区（銀鏡・上揚）の区長からの話>
濱砂重忠区長から、銀鏡・上揚地区を訪れた大学生へ銀鏡の概要と現況の報告、歓迎の言葉を述べました。

<ユズ畑での収穫体験>

東米良地区の特産品は、香気を放つ良質なユズ。農作業に乏しい大学生がユズ畑で収穫体験を行いました。



東米良創生会 設立

設立趣意書

東米良に位置し、紅葉樹林の山脈にある東米良地区(旧東米良村)は、宮崎県西都市の山間部にあり現在人口240数名、高齢化率60%台の限界集落である。今や消滅するかもしれない地域である。しかしながら、東米良地区には縄文時代の遺跡があることから古くから人の関わりがみられ、この地域の各地で奉納される神楽でも分かるように山岳信仰と深く関わり、現在も神事と生活が密接につながっている。また麓え立つ山々は隠れの里として病油一族や西郷隆盛などとも関わりの深い場所でもある。また、この東米良地区は第二次世界大戦中、疎開をしていた人を含めると6000人に近い住民がいたそうである。その住民の食料を助えるほど地域資源が豊富な恵まれた地域でもある。もう一つ、この地域の特徴がある。それは教育熱心なことである。先祖代々の地域の教育の考え方は文武両道で、心技体を鍛え、優秀な子どもには山を売ってでも教育をせよと聞いている。このようなことから、当団体は下記の3つの柱を基本とし、「1000年続く村 東米良創生プロジェクト 循環型山村づくり」の事業を実施していくものとする。

① 教育の推進、充実

限界地区では、小中学生の山村留学が行われ実績もあり、人は人間である前に動物であるという観点から見ると自然豊かな環境の中で、育て教える(教育)ことが疎かになっている。文武両道の精神で積極的に教育に関わっていく。

② 伝統文化の継承

東米良地区で継承されている銀鏡神楽は県内で最初の国の重要無形民俗文化財に指定されている。尾八重神楽は宮崎県指定無形民俗文化財である。中尾神楽は西都市無形民俗文化財である。このように先祖代々継承されているこの文化を今後も継承し続ける方法を模索し、現在の課題を解決していく。

③ 地場産業の発展および新規事業の開拓と誘致

地の利を生かした地場産業の発展と現代のIT関連の事業の融合を推進することにより、この東米良地区での雇用の充実を図り、生活環境整備も合わせ人口増加を目指す。

近年、大都市に人口が集中する中で、国策として地域創生を進めることになった。その中で中山間地域の活性化も叫ばれるようになり、西都市は全域が中山間地域に相当する。川や海を守るためには山を守るべきとの意識もあり、東米良地区の創生は平野部の西都市街地の隣接維持に寄与し、西都市全体を発展させるものとする。また、この地域課題は日本国内の中山間地が同様に抱えるものであり、この課題解決を行うことは広域な課題に取り組むことと同様と考える。

東米良地区の創生を目指し、永続的にこの東米良地区の山村が保全され発展するために事業を実施していくことを当団体の設立の目的とする。

令和2年5月27日

設立代表者 濱 砂 重 仁

東米良創生会は会員の相互扶助で運営します。会員募集!

入会のご案内はP.9をご覧ください。

あーせい!こーせい!
 そーせい(創生)!
 みんなで東米良を盛り上げよう!!
 1000年続く村!
 住民が主役の村づくりを応援します。



東米良創生会 会長 濱砂重仁



東米良創生会事務局 〒881-1232 西都市大字銀鏡 6 5 4

電話 0983-46-2852 ・ FAX0983-32-0162

Email : higasimerand@yahoo.co.jp

• 1000年続く村

• 東米良創生プロジェクト

• 循環型山村づくり

• 住民が主役の村づくり

平成2年
東米良創生会設立



無人販売所の運営や地域資源の商品開発等の収益化、地域内外からの賛助会員の会費を活用した村おこし活動の展開。

#IT機器、#オンデマンドカー、#無人直売所

対象地域

- (事務局名)
NPO法人東米良創生会
- (地域の範囲)
集落の集合体（12集落）
- (土地面積（R4.11月時点）)
14,200ha
- (農地面積（R4.11月時点）)
143ha
- (世帯数（R4.11月時点）)
117戸

構成員

- ・東米良地域づくり協議会
- ・東米良1区、2区、3区
- ・NPO法人東米良創生会
- ・西都市猟友会
- ・銀上集落協定
- ・(株)農業法人かぐらの里
- ・(株)廣末鯉家・米良産魚(株)
- ・石川林業
- ・社会福祉法人善仁会本部
- ・西都市

活用した他の施策

- ・鳥獣被害防止総合対策交付金
- ・西都市互助による輸送事業
オンデマンドカー

取組内容

現状と課題

	現状と課題	課題に対する対応方針	目標値（アウトカム）
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ・労働力不足の影響により、農地の維持が難しく、山間地域であることから鳥獣被害も深刻。 ・地域農業の維持のため、労働力の確保と省力化、鳥獣被害対策を含む効率的な営農体制の構築が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物管理や鳥獣被害防止のための労働力を、関係者間で融通し合える体制づくり。 ・ベテラン農林業者の技術を継承できるよう、技術の見える化。 ・IT機器導入による農園管理や鳥獣捕獲情報の共有等の体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間必要労働力の視覚化を通じた地域雇用計画の作成。 ・熟練農家の技術情報の集約を通じたシステム化検討案の作成。 ・鳥獣生息数の把握。
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆずやジビエといった地域の特産品はあるものの、その流通や加工・販売体制が未確立。 ・空き家や遊休施設が複数あることから、それらの有効活用を図ることが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドカー等を活用した共同での農産物の物流体制の整備やネット販売、無人直売所の設置。 ・ゆず、ジビエ、竹林等の地域資源を活用した商品開発。 ・地区交流施設・キャンプ場等の整備を行い、都市農村交流等の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷希望農家数・販売品目・品数の試算表作成。 ・地場産品の選定と販売計画案を作成。
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の半数以上が65歳以上の高齢者であり、災害時の安否確認体制の確立や移動手段の確保、デジタルデバイド（情報格差）の解消等が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災会議の開催や避難所アンケートの実施。避難困難者情報の共有。 ・診療所と救急時の情報共有と連携、地域包括ケアシステムの構築。 ・高齢者向けネット学習・学習支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無人販売所利用希望者数・希望品目・利用頻度調査による設置場所・時間等の運営案を作成。 ・出荷希望農家のうち出荷困難農家の支援体制案の作成。

推しポイント

当地域は国重要無形民俗文化財指定の銀鏡神楽をはじめとする古くから継承される集落活動を大切にしています。地域住民一人一人が主役になれるような活動を通して1000年続く村を目指します。



フリーペーパー
宮崎県西都市東米良 村おこし情報

14号

ひがしめら

Higashimera

尾八重神楽 11月25日(土)~26日(日)

銀鏡神楽 12月14日(木)~15日(金)

わたしたち、社会福祉法人善仁会より

東米良地区にお住まいの皆様へお知らせ



来春 東米良地区に デイサービスセンター がOPENします！！ (旧銀上小学校跡)

地域のみなさまが集まる憩いの場所に・・・

2021年春に東米良地区にOPEN予定のデイサービスは、
のどかな景色やきれいな川・森林・豊富な農産物など
自然豊かな場所にある事をいかして
さまざまな行事や地域交流でのふれあいを大切に
地域に開けたデイサービス開設を目指しています！！

東米良ボランティアセンターは 活動開始しています！！

日常生活のちょっとした日ごとと
外部ボランティアのマッチング
を行い支援していきます

東米良地区で子育てされる ご家族をサポートします！！

東米良創生会と協力しながら
お子様の送迎サポートや
放課後預かり支援サービスの
事業開始などを検討しています。
地域のみなさまのお役に立てるよう
努めてまいります



社会福祉法人善仁会グループの紹介

- ＊特別養護老人ホームわにづか荘 宮崎県田野町
- ＊複合型福祉施設にの里 児湯郡木城町
- ＊障害者支援施設宮崎リハビリテーションセンター 宮崎市清武町
上記の施設を運営しております

詳しくは、東米良地区地域支援事業準備室 0983-46-2852までお問い合わせください。

東米良創生会トピックス

浜ちゃん コイン精米機稼働！！

(濱砂重仁氏寄贈)
2020.6月一瀬中武高事がソリンスタンド
側に設置されました。売り上げは東米良の創生の
事業費として活用されます。村おこしコイン精米
機をどうぞご利用ください。

コイン精米機稼働の様子→
(左 長友副会長、右 濱砂重仁氏)



電動自転車貸出事業予定
社会福祉法人善仁会と連携して計
画中。住民の皆様の利便性と健康
づくり、地域コミュニティの充実
を目標にしています。

オンデマンドタクシー検討
地域内の移動手段はもろんです
が東米良までの移動手段としても
検討中です。皆様のご意見ご要望
をお聞かせください。

中山間地域等直接支払制度
第5期銀上地区集落申請予定
山村農業をみんなで守り
活性化しましょう！

光回線利用検討会
光回線を利用した情報発信や
地域コミュニティ、生活環境
の改善などを検討中です

東米良地区内 空き家情報募集！！

移住や家族留学、民泊などに活用するた
め空き家情報を募集しています。活用をお考
えの方、当会事務局までご連絡ください。ま
た、移住等をお考えの方も当会にご相談く
ださい。

空き家管理を 委託されませんか！

故郷になかなか帰郷できない、草刈が大
変、定期的に清掃をお願いしたい、お家の
様子を知らせてほしいなど…東米良に住
んでないけど、東米良にお家のある方のお
手伝いをします。ご一報ください。

東米良創生会 会員募集！

詳しくは事務局まで ☎ 0983-46-2852
会員になって東米良の活動に参加したい！遠く離れているけど東米良を応援したい！関わりたい！
様々な会員特典を企画中！情報誌東米良の購読が出来ます。
会員団体・企業は情報誌東米良に告知ができます。などなど…

【会員種別】

個人賛助会員	1口 3,000 円/年
家族賛助会員 (同一住所内家族)	1口 5,000 円/年
団体企業賛助会員	1口 10,000 円/年

寄附・協賛金
1口 3,000 円～
募集中！！

Higashimera Furusatobin 東米良ふるさと便

1 東米良産 新米

5kg 3,000円(税込・送料込)
東米良で育った新米！
収穫は10月中旬
以降となります。



2 東米良産 詰め合せ

3,500円(税込・送料込)



山蜜
東米良の山で採れた
エッセンス(蜂蜜)の
貴重な蜂蜜です。

ゆずポン酢
精製と良質のゆずを使用し、
ゆずの香りを引き出したポン酢です。
びん入りで持ち帰りやすいです。

孟宗竹水煮
東米良産の孟宗竹の子を
皮つきの状態で煮ました。

購入方法

- 電話・FAXでご注文
- LINEでの注文 かぐらの里公式LINEを友達追加
①名前 ②電話番号 ③住所 ④購入商品 ⑤数量
⑥一時的に返信していただく。

お支払い方法

- かぐらの里で直接支払い
- 代金引換(手数料 税込200円)
- 郵便振込用紙(手数料無料)

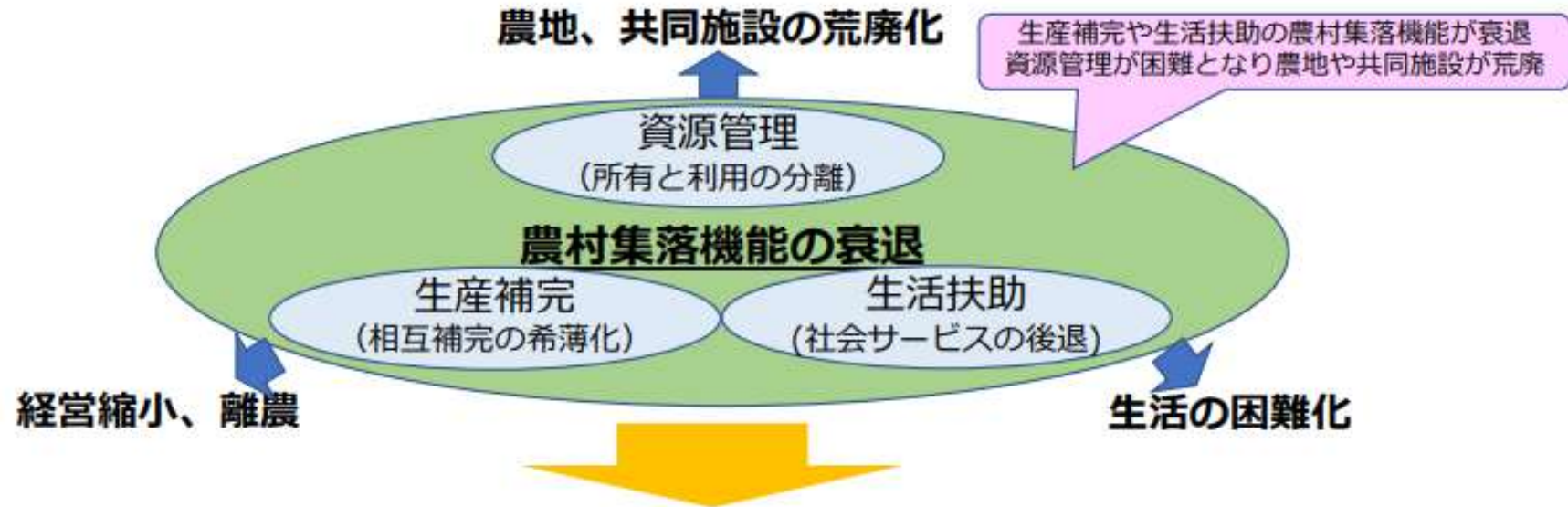
7 農業生産法人 株式会社かぐらの里
〒881-1237 宮崎県西都市大字銀鏡490

TEL 0983-46-2121 / FAX 0983-46-2361
E: shop@higashimera-yuzuru.com
http://higashimera-yuzuru.com

0120-466-203

農村地域での集落機能の低下と地域運営組織の必要性

- 中山間地域では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、**地域資源（農地・水路等）の保全や生活（買い物・子育て）など集落維持に必要な機能が弱体化。**
- 農家、非農家が一体となり、生産、生活扶助、資源管理に取り組むことで、**地域コミュニティの機能を維持・強化することが必要。**



3つの集落機能を補完する地域運営組織（RMO）が必要

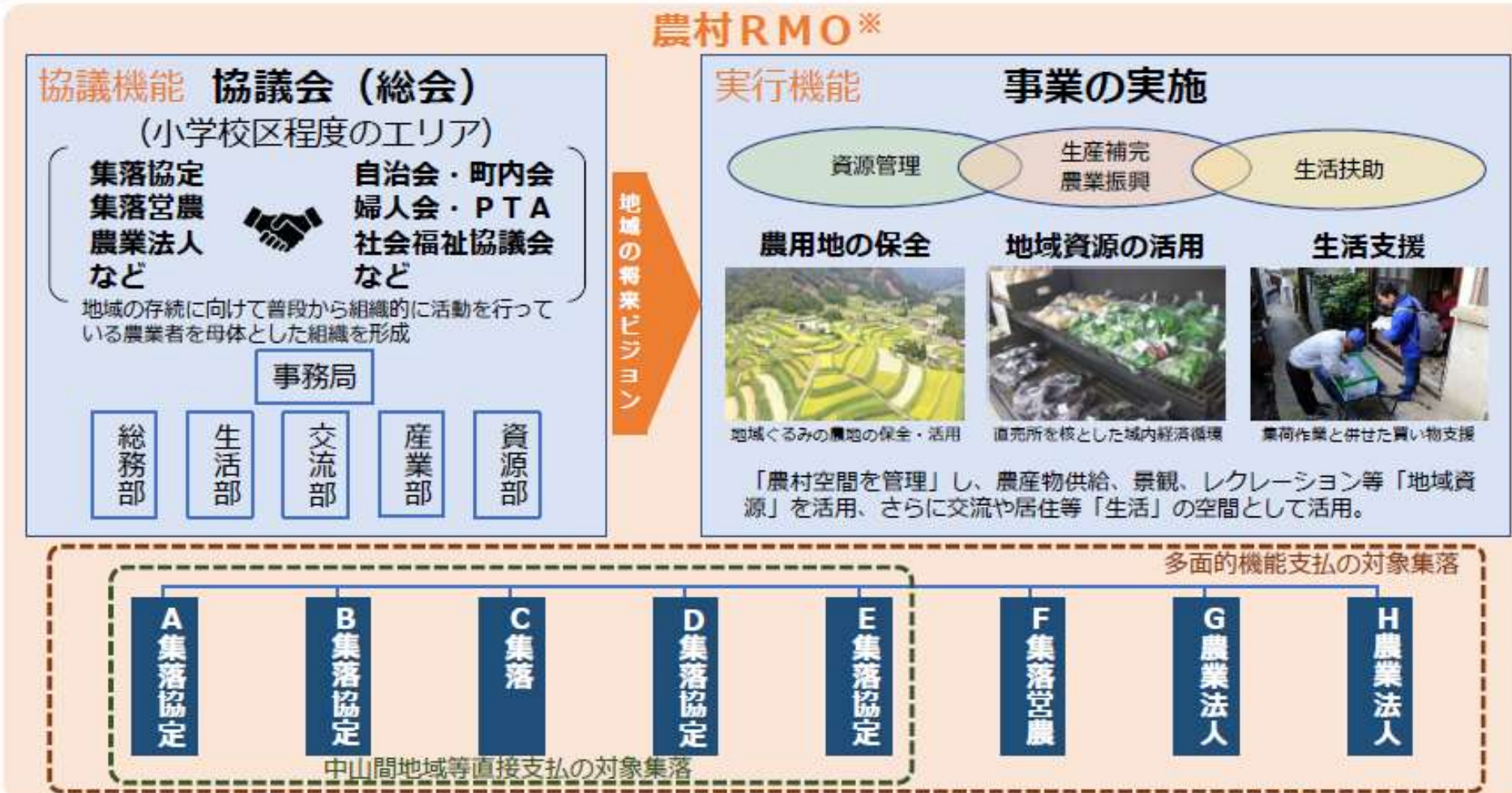
地域運営組織とは、地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。

RMO: Region Management Organizationの略

(例) ○○まちづくり協議会、○○地域づくり協議会、○○地域協議会、○○地域運営協議会 等

中山間地域の保全のための農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基礎となる農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の生活支援に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき各事業を実施。



中山間地域等直接支払、多面的機能支払による共同活動、組織的活動の下地

※ 地域運営組織が展開する活動は多種多様であり、法人格を持たない任意団体（自治会・町内会、自治会等の連合組織など）をはじめ、NPO法人、認可地縁団体、一般社団法人、株式会社、合同会社など多様な法人制度を活用。



高知県におけるRMO先進事例

高知県

本山町

栲原町四万川地域



もとやまちょう 農村RMO形成モデル支援 本山町全域 本山町農村みらい会議（高知県本山町）



農用地保全、地域資源活用、生活支援の計画を策定し、地域コミュニティ機能の維持・強化に町内の組織が一体となり取り組む仕組みづくり。

#広域連携、#ビジョンづくり

対象地域

- (事務局名) 本山町役場
- (地域の範囲) 町内全域 (23集落)
- (土地面積 (R2.10月時点)) 13,422ha
- (農地面積(2020農林業センサス)) 278ha
- (世帯数 (R3.4月時点)) 1,683戸

構成員

- ・中山間直接支払協定
- ・多面的機能支払活動組織
- ・集落活動センター「汗見川」
- ・集落活動センターなめかわ
- ・集落営農組織 (7組織)
- ・社会福祉協議会
- ・一般財団法人 本山町農業公社
- ・本山町役場

活用した他の施策

- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・多面的機能支払交付金
- ・集落支援員

取組内容

現状と課題

農用地保全

- ・農家の高齢化の急速な進行により、農地を耕作する人手が不足し、農地は荒廃し、集落崩壊が懸念。

地域資源活用

- ・本山町の顔となる特産品づくりを進めるため、特色ある農産物を活用し、製造及び加工などの6次産業化を推進。
- ・町内の加工業者や生産者が協力して商品開発を推進。

生活支援

- ・高齢者世帯が増加し、単身(独居)世帯や認知症の高齢者が増加。
- ・中山間地域の介護サービスの種類及び量は、都市部と比較して少なく、必要とされる居宅サービスの種類確保と介護予防の農村集落として生活支援の取り組みが必要。

課題に対する対応方針

- ・「集落ぐるみで農業に取り組むシステムづくり」の確立。
- ・中山間地域関連事業の活用を推進。
- ・各集落の持つ地域資源を活かしたビジョン策定と実現に向けた集落営農支援の実施。

- ・産地と消費者を結ぶ販売戦略、農産物集荷、6次産業化、都市圏への販路開拓。
- ・観光と連携した事業を展開。

- ・住民の要望を掘り起こし、集落機能強化や、地区が集落活動センター等を活用して行うコミュニティ活動力の向上等の取組みを実施。

目標値 (アウトカム)

- ・機械利用体制(案)を構築(1式)

- ・地域食材を活用した加工品を試作(1品)
- ・所得向上計画(案)策定(1式)

- ・支援サービス計画(案)策定(1式)

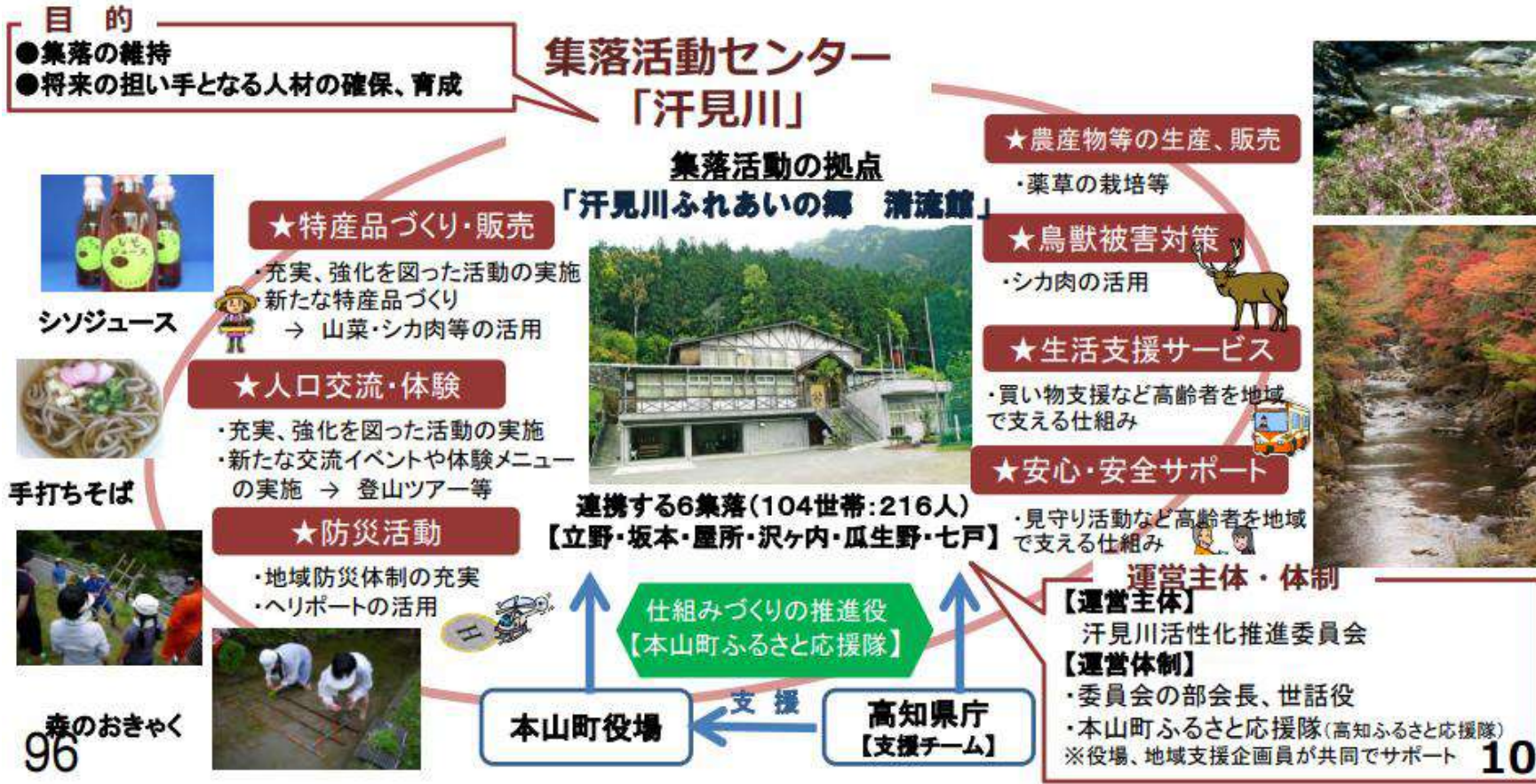
推しポイント キャッチフレーズは「人から人へ未来へつなげる本山町」。



集落活動センターの取り組み事例

(1) 集落活動センター「汗見川」(本山町)

地域住民が主体となって、汗見川ふれあいの郷 清流館を拠点に、集落の連携による既存活動のブラッシュアップや新たな活動の実施をつうじて、次世代の人材を確保し、集落での活動をいつまでも続けられる魅力ある集落を目指す。【平成24年6月17日 開設】



- 集落活動センターが各となつてRMO活動を推進

- 運営体制 汗見川活性化推進委員会

- 清流館 年間800人利用

- しそジュース
- 運営体制

- ・部会長 世話役
- ・本山町ふるさと応援隊

(役場・県地域支援企画員共同サポート)



地域住民の暮らしを守るため、地域で楽しく外貨を稼ぎ、地域住民が主体となって支え合い、助け合うことができる仕組みづくり。

#共同作業の省力化実証、#キジの商品開発

対象地域

- (事務局名) 株式会社四万川
- (地域の範囲) 旧市町村 (13集落)
- (土地面積 (R4.4月時点)) 4,553ha
- (農地面積 (R4.4月時点)) 29ha
- (世帯数 (R4.4月時点)) 239戸

構成員

- ・四万川区
- ・中山間直払集落協定
- ・多面的機能支払活動組織
- ・四万川お茶堂の会
- ・株式会社四万川

活用した他の施策

- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・多面的機能支払交付金
- ・集落支援員
- ・高知県産業振興推進総合支援事業費補助金

取組内容

	現状と課題	課題に対する対応方針	目標値 (アウトカム)
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 13集落で構成する明治合併前の旧町区域 (四万川区) をエリアとした集落協定及び活動組織が農地の保全活動をしている。 ● 高齢化により担い手が減少するなか、共同で行う農地保全活動の継続が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域等直接支払交付金等を活用した農地保全活動を継続。 ● アシストスーツを活用した共同作業の省力化の実証により、保全活動を継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業項目ごとのデータ・アンケート収集 (1式)
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年に「きじ生産組合」が解散し、事業継承が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集落活動センターが事業継承し、飼育力・加工能力強化のため、飼育施設、加工施設を建築予定 (県単補助)。本交付金を活用し、新商品の開発を行い、販路拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● キジの新たなレシピ開発 (1品)
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の移動手段の確保や買い物支援などと併せて、見守りなど支え合い、助け合いによる仕組みづくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心安全サポート (農産物の集出荷と併せた高齢者の見守りなど) の実施に向けた検討・試行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5回/年の試行

押しポイント 地域のための活動をみんなで楽しく取り組んでいます。新たな商品開発にも果敢にチャレンジしていきます。



- 区長が集落協定の代表
- 集落活動センターを核に地域運営組織



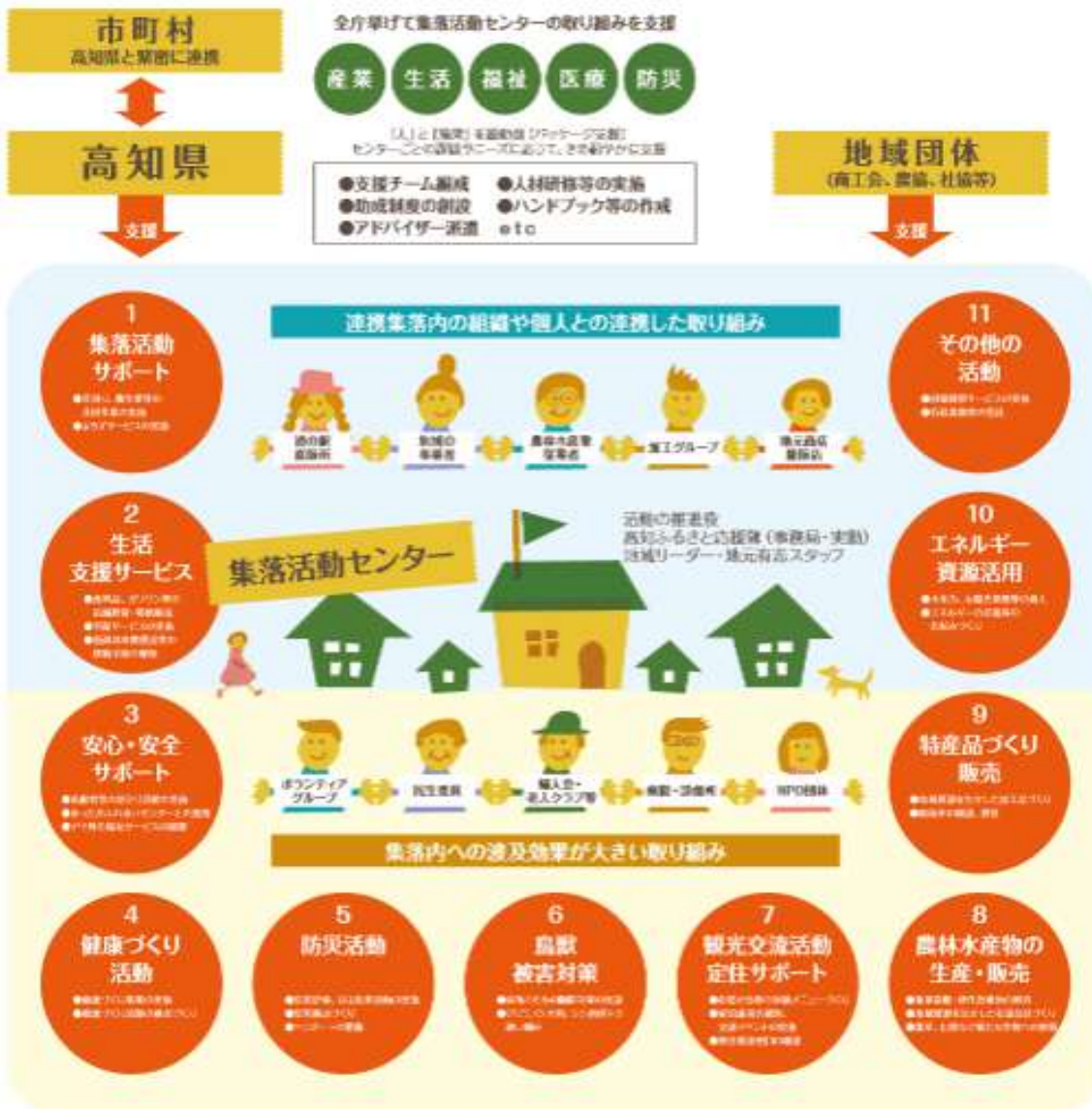
- 田んぼオーナー制度
- アシストスーツを活用した共同作業
- 集出荷事業
- 雉 (きじ) の飼育・加工事業
- 農地保全
- ガソリンスタンド経営
- 集落コンビニ経営



- 地域のガソリンスタンドを運営
- 集落活動センターはガソリンスタンドの事務所内に設置（集落コンビニ併設）
- 地域の特産雉（きじ）食品加工場の設置



▶ 集落活動センターによる集落維持の仕組み



• 「集落活動センター」とは

地域住民が主体となり 地域外からの人材も受け入れながら、旧小学校や集会所などを拠点に、地域の課題やニーズに応じて、生活、福祉、産業、防災等の様々な活動に総合的に取り組む仕組み

• 地域が抱える課題を解決する手段として、高知県では、「集落活動センターを核とした集落維持の仕組みづくり」を推進しています。

※ええとこうち記載内容を要約

集落活動センターとは、複数集落の住民の皆さまが連携を図りながら、旧小学校や集会所などを拠点として、次のような活動を行う仕組みです。

- (1) 日々の助け合いの活動（例：高齢者などの見守り活動、健康づくり）**
- (2) 地域の資源を活用した経済活動（例：特産品づくり、民泊）**
- (3) 地域の暮らしを守る取り組み（例：自主防災組織、ヘリポートの整備） など**

○これらの活動を行う上でのポイントは、以下の5つです。

- (1) 主役は、地域住民の皆さま
- (2) 活動は地域のオーダーメイド
- (3) 皆さまの集まりやすい場所が活動の中心
- (4) 様々な人材を活用
- (5) 集落の連携による取り組み

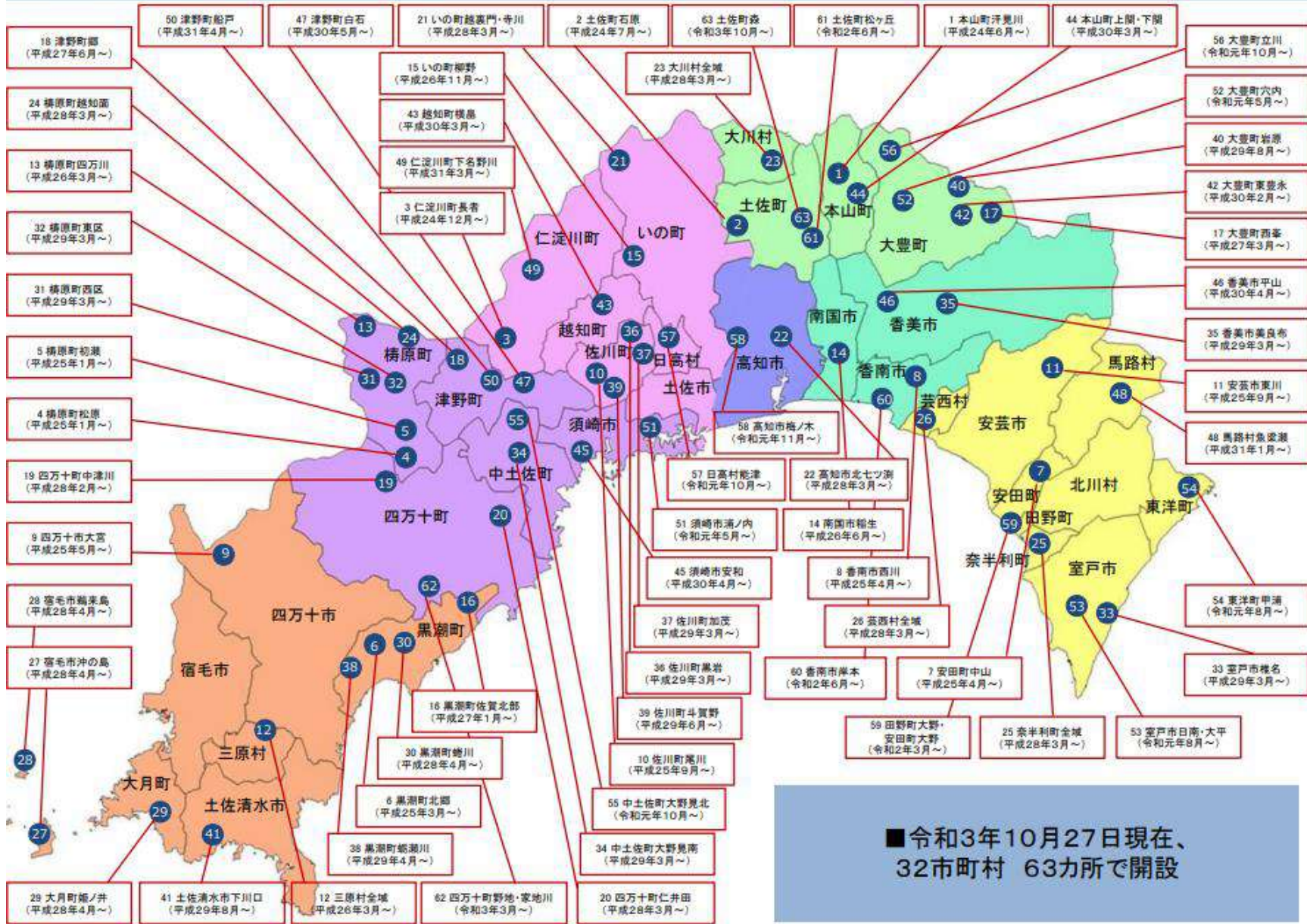
<集落活動センターのイメージ>

集落活動センターによる集落維持・再生の仕組みづくり



- 集落活動サポート
- 生活支援サービス
- 安心・安全サポート
- 健康づくり活動
- 防災活動
- 鳥獣被害対策
- 観光交流活動・定住サポート
- 農林水産物の生産・販売
- 特産品づくり・販売
- その他の活動

集落活動センターの開設状況



高知県内の集落活動センター数 63カ所



資料) 高知県集落活動センターマニュアル (2021年12月28日公開)
https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/070101/files/2020122300084/file_202112282224842_1.pdf 20231126アクセス

■ 集落活動センター連絡協議会

資料4-3

(1) 協議会設立の経過

平成24年4月～ 県が集落活動センターの取り組みをスタート
 平成24年6月 集落活動センターの第1号が立ち上がる
 平成28年4月 集落活動センターが30カ所（22市町村）となる

※各センターそれぞれで、体験イベント交流や日用品販売店舗などモデルとなる取り組みが進むが、市町村域を越える交流は少ないため、県がハブとなって情報提供や事例紹介を実施

※各集落活動センターがネットワークを構築し、横の連携を強化することで、活動のさらなる充実につなげる

平成28年6月 高知県集落活動センター連絡協議会を設立



- 県域レベルでの相互交流が活発化
- 県内各地域に、顔が見える関係の仲間がいる

(2) 協議会の概要

設立 平成28年6月3日
目的 集落活動センターの取り組み事例の共有や、情報交換を行う。集落活動センター間の相互交流を推進する。
集落活動センターの活動のさらなる充実につなげる
組織体制 集落活動センター運営組織の代表者で構成
 会長 1名（任期2年）
 副会長 3名（任期2年）
 事務局：高知県中山間地域対策課
 オブザーバー：市町村、集落活動センター推進アドバイザー

ポイント

- ・県域での小さな拠点のネットワーク組織は全国唯一
- ・県とともに中山間支援組織としての役割を担う

(3) 活動の概要

(1) 総会、役員会の開催

総会・・・年2回開催（6月頃、2月頃）
 役員会・・・必要に応じて開催（年3回前後）

※全ての集落活動センターの思いを活動に反映させるため、アンケート調査を実施（H28年度、H30年度）

(2) エリア別情報交換会の開催

- ・近隣地域で、日ごろから情報交換できる関係性づくりのきっかけ！
- ・小規模な情報交換会の方が集まりやすい！

幅多(H30.11月)、嶺北(R1.9月)、高幡地域(R1.11月)では、各地区の連絡協議会が設立

(3) 県と連携した人材育成研修の実施

集落活動センター推進フォーラムの開催（総会と同日）

(4) 情報発信

- ・集落活動センターのポータルサイト「えいとここうち」の活用
- ・高知市中心商店街での特産品販売会の開催
- ・集落活動センター連絡協議会メールニュースの配信

新たに発足した集落活動センターも加入し、地域づくりに関する専門家などを招いてのシンポジウム開催など、さらなる活動の活性化に向けて取んでいます。



集落活動センター連絡協議会は、これからも活動を広げていきます！

・集落活動センター間の相互の顔が見える関係づくり

・県域における小さな拠点のネットワーク組織は全国唯一

・県とともに中山間支援組織としての役割

あっちいき、こっちいき。

土佐巡里

tosameguri

集落活動センターを知っていますか？

集落活動センターとは、住み慣れた地域への愛着と、「これからもここに住み続けたい」という想いを持つ地域住民の方々が、旧小学校や集会所などを拠点に、それぞれの地域の困りごとや、取り組んでみたいことに、チャレンジする仕組みです。

この冊子では、そんな集落活動センターの中から、カフェやお食事どころ、様々な自然・文化体験ができるところをご紹介します。

パンフレット内アイコン

食事	宿泊
体験	龍馬バスポート参加施設
直販所	特産品

思い出の1枚を残せるフォトスポットを各マップ中にアイコンで表示しています。旅のプランの参考にぜひご利用ください。



Contents

- 03 | あっちいき、こっちいき。(エリア別周辺探索MAP)
- 41 | 花を探してあっちいき。(嗅いだり、眺めたり)
- 45 | えいもん探しでひとやすみ。(ちょっと足をとめておみやげでも)
- 53 | イベントカレンダー (まだまだ知りたい)
- 55 | 集落活動センター information・お問合せ先
- 57 | 索引



QRコードの使い方

今いる場所から、目的地までの距離・移動時間などをご案内します。

<p>1</p> <p>希望の施設内のQRコードを読み取る</p>	<p>3</p> <p>右下の青いマークをタップ</p>	<p>4</p> <p>目的地への距離や所要時間を確認後、ナビ開始</p>
<p>2</p> <p>読み取り内容か、ピックアップ内容を選択</p>		

● 集落活動センター連絡協議会の設置

→ 集落活動センターのネットワーク化

ウォーキング @高幡

集落活動センター「四万川」
 高岡郡穂原町六丁116-1
 ☎0889-67-0880

龍馬脱藩ウォークin葎ヶ峠



坂本龍馬が脱藩した道を県境の葎ヶ峠まで、標高差約450m、約10kmの道のりを、龍馬の足跡をたどりながら1時間から2時間かけて歩きますので、本格的な山歩きを無理なく楽しめます。帰りは集合場所までバスでお送りします。

- 通年
- 2,500円/1人
当日集合(弁当・お茶・道路バス代・保険代・脱藩証明書発行代)
開催年により変更となる可能性があります。
- (株)四万川 集落活動センター四万川
- 開催条件:事前申込
イベント以外の「脱藩の道ウォーク」の問い合わせ先は「ゆすはら観光交流案内所」まで。

集落活動センター「まつばら」
 高岡郡穂原町松原400-1
 ☎0889-86-0044

久保谷森林セラピーロードウォーキング



穂原町松原の久保谷川沿いにあります。1923年頃に出来た水田に水を引くための水路沿いを歩きます。全長3kmの高底差が約10mという、勾配のゆるやかなロードです。平坦なコースは歩きやすく、ふかふかしたコケの絨毯、落葉のクッションの道、泳いでいる魚が見えるほど澄んだ久保谷川、四季折々に咲く花、野鳥の鳴き声…森の精たちに出会えるせせらぎの小道です。

- 通年
- 1,000円/1人・団体の場合は要相談
- あいの里まつばら

集落活動センターうらのうち
 高岡市浦ノ内東分168-32
 ☎0889-49-0311

横浪黒潮ラインウォーキング



横浪半島の絶景や鳴無神社等の地域の観光資源を活かしたウォーキングコースを設定します。地元特産品の地産会等も行われます。横浪黒潮ラインの絶景、土佐の宮島とも言われる鳴無神社や武市平平太像など美しい風景と歴史、地域の営み等、見所が盛りだくさんです。

- 11月予定
- 500円
- 1日ぐるの浦ノ内 事務局(公民館)
- 開催条件:定員:各コース100名
- 8kmと12kmのコースがあります。

集落活動センターあわ
 須崎市安和248-3
 ☎0889-59-1595

ウォーキングイベント



安和海岸の景色を楽しみながら、昔のお瀬路さんの足跡をたどってみませんか?
 コース概要:安和海岸や安和駅の景色を見ながら、旧道路道を歩きます。安和地区の歴史や文化について随時説明しながら約4kmのコースを設定します。(所要時間:約1時間)

- 7月上旬(七夕ウォーキング)・1月上旬(初日の出ウォーキング)
- 500円
- 集落活動センターあわ
- 開催条件:要予約(荒天中止)

集落活動センター「奥四万十の郷」
 高岡郡津野町芳生野乙810
 ☎0889-43-9155

歩いて郷Go!



長沢の滝、不入溪谷など、地元ガイドとともに散策します。農家食堂cafeイチョウノキの食事付き。新緑、紅葉シーズンにぴったり!山の空気感の中、ゆったり散策したあとのイチョウノキのランチは格別です。

- 通年・土日祝日のみ
- 食事付き/2,500円・散策のみ/1,500円
- 集落活動センター「奥四万十の郷」
- 開催条件:要予約・最小人数4名〜

集落活動センターあわ
 須崎市安和1171-8
 ☎鈴木 伸明 090-8103-3961

シーカヤックツアー



壮大な太平洋で遊びましょう!太平洋に浮かぶ無人島や、カヤックでしか行けないシークレットビーチを目指します。お子様連れの方や初心者の方、経験者の方、どなたでも楽しめるコースをご用意しています!

- 通年
- のんびり安和コース/大人:5,500円、子ども:4,500円
- よくばり神島コース/大人:6,500円、子ども:5,500円
- ガンガン横浪三里コース/大人:12,500円、子ども:10,500円
- スペシャル大堂コース/大人:14,500円、子ども:7,500円
- スタール:6,500円
- レモレモカヤックス
- 開催条件:3歳以上

Topics!!

集落活動センター「おちめん」 「ゆすはら育ちのきくいも家」

越知面地区で栽培されているキクイモの商品化に取り組み、第一弾「甘酢漬け」「梅酢漬け」「タレ漬け」の漬物を新たに商品化。好評発売中!



直販所

集落活動センター「四万川」

しまがわ市場

- 高岡郡穂原町六丁116-1
- ☎0889-67-0880
- 7:00~12:00、休:毎週日曜、1/1~1/3
- 龍馬バスポート対象



坂本龍馬が脱藩のために通った葎ヶ峠に行く途中にある小さな市場。地元で採れた米や加工品、お惣菜を販売しており、ガソリンスタンドが併設されています。



直販所

集落活動センターうらのうち

ジビエ浦ノ内

- 須崎市浦ノ内東分2811-1
- ☎0889-49-0144
- 9:00~17:00

横浪スカイラインの西端にある事務所では、食肉処理したイノシシ肉の直販も行っていきます。海を泳ぐイノシシをぜひご賞味ください。事務所のほか高知市内とさのさとやインターネットでも購入できます。

オンラインストア
<https://jibie.uranochi.stores.jp/>

安芸エリア 穂原川・高知市エリア 横北エリア 仁淀川エリア 高幡エリア 穂多エリア

● 集落活性化を
センターを
巡る観光が
交流を県が
推進

● 集落の魅力
発信と交流
の支援(関係
人口のかけ
づくり)

● 集落の商品
の販路開拓

集落活動センターの推進体制

縦割りを打破する3つのアプローチ

1) 政策群の3層化

- ①一次産業を中心とした産業成長戦略 産業クラスター
- ②地域資源を生かした地域アクションプラン
- ③集落活動センター あらゆる分野を地域主体 オーダーメイド

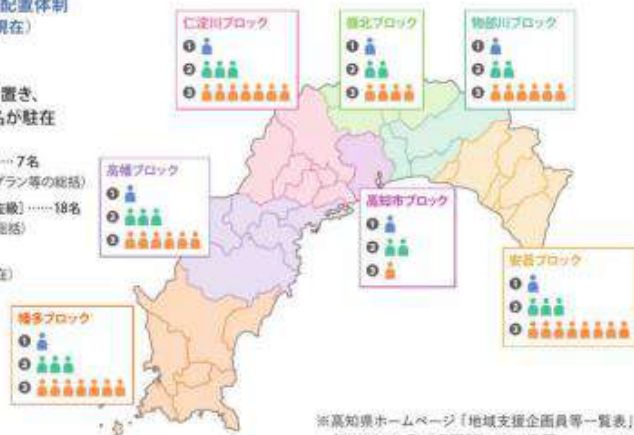
2) 県知事を本部長とする中山間総合対策本部

3) 現地駐在の県職員（約60名）

図 2-5 地域支援企画員の配置体制
(2019年10月15日現在)

県内7ブロックに地域本部を置き、各地区に以下①～③計64名が駐在

- ① 地域産業振興監 [副市長級] …… 7名
(産業振興計画・地域アクションプラン等の総括)
- ② 地域支援企画員総括 [課長補佐級] …… 18名
(地域支援の総括、集落支援の総括)
- ③ 地域支援企画員 …… 39名
(地域本部および各市町村に駐在)



※高知県ホームページ「地域支援企画員一覧表」
(2019年10月15日更新) により作成。

表 2-1 「集落活動センター」の立ち上げや運営を支える高知県の主な補助制度

種類	内容
集落活動センター推進事業費補助金 (対象：市町村等、補助率1/2以内、ハード・ソフト)	① 集落活動センター整備事業：1カ所あたり3,000万円/3年間
	② 人材導入活用事業：1人あたり125万円/年
	③ 経済活動拡充支援事業：1カ所あたり500万円/年
	④ 基幹ビジネス確立支援事業：1カ所あたり1,000万円
	⑤ 高知県集落活動センター連絡協議会支援事業：110万円/年
集落活動センター推進アドバイザー	知見を有している専門家を派遣し、集落活動センターの円滑な立ち上げや運営等を支援 (筆者【藤山】もアドバイザーの一人)
集落活動センター研修会	集落活動センターを立ち上げた地域および検討している地域を対象に、全体研修会・テーマ別研修会や意見交換会等を実施

地域支援企画員制度とは

地域支援企画員（県職員）は、**県庁と地域をつなぐパイプ役**。地域のニーズや思いを汲みながら、地域の振興や活性化に向けた取組みを支援するとともに、県の情報を伝え、県民の声を県政に反映させるための活動を地域で展開！

1 役割、活動内容等

<役割>

- (1) 産業振興や地域づくりなど地域の活性化に向けた支援
- (2) 地域における活動の芽を育む
- (3) 県の政策を地域に伝える
- (4) 地域の情報を汲み上げ、県の政策等に反映など

飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画



<主な活動内容>

- ◆ 産業振興計画（地域アクションプラン）の地域での芽出しや実行支援
- ◆ 集落活動センターの立ち上げ・運営等の取組みへの支援
- ◆ 地域における移住促進の取組みへの支援
- ◆ 地域の人づくりへの支援 など

<活動の基本姿勢>

○ 地域に入ることを基本とする

地域の直面する課題や住民のニーズに耳をかたむけ、地域の住民とともに考え、具体的に行動を起こす（地域住民とともに一緒に汗をかく）

○ 地域づくりの主役は住民。地域支援企画員は黒子に徹する

○ 市町村と十分に連携

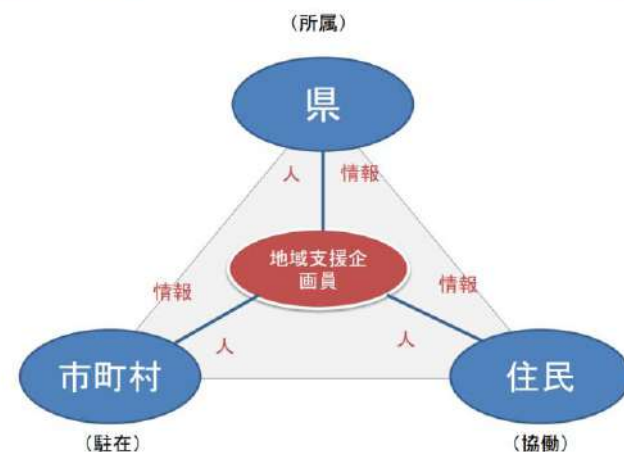
106 ○ 県庁全体の窓口（県と地域をつなぐパイプ役）としてしっかりと役割を果たす

3

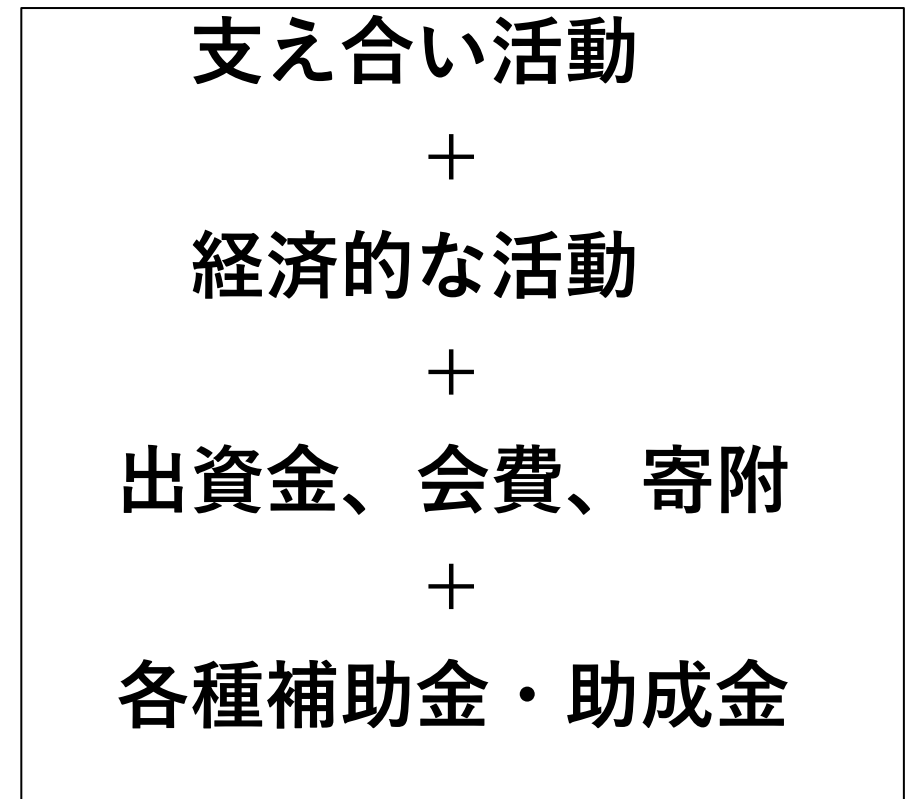
- 県庁と地域をつなぐ地域支援企画員（県職員）制度

- 産業振興や地域づくり等の中間支援的役割を担当

地域支援企画員の立ち位置（ホジション）



集落活動センターの事業継続性（高知県）



地域内外の人・モノ・情報・カネをどのようにマネジメント（やりくりして成果を出す）のか？

3つのRMOの共通点

～中間支援組織の重要性（伴走力）～

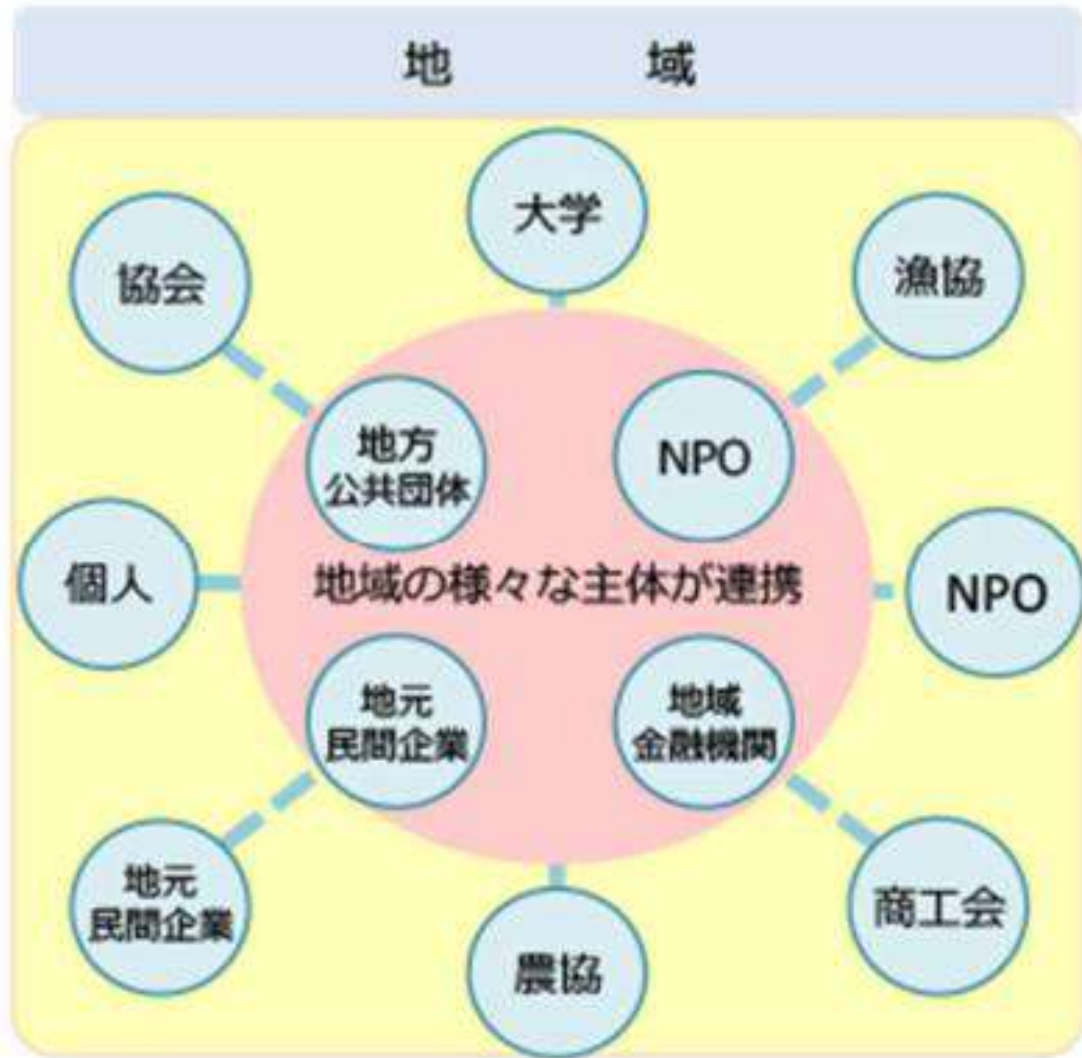
●中間支援活動の内容

- 様々な地域づくり活動に取り組む担い手の自立・継続に向けて、担い手が必要とする情報の提供やアドバイス、商品やサービス開発において必要となる **専門家や事業者等のマッチング、コーディネート等を行うなど、担い手に寄り添い、伴走型で支援を行うことを中間支援活動**と呼んでいます。
資料）国土交通省 中間支援ハンドブック（案）<https://www.mlit.go.jp/common/001197585.pdf> 20231121

中山間地集落における中間支援の重要性

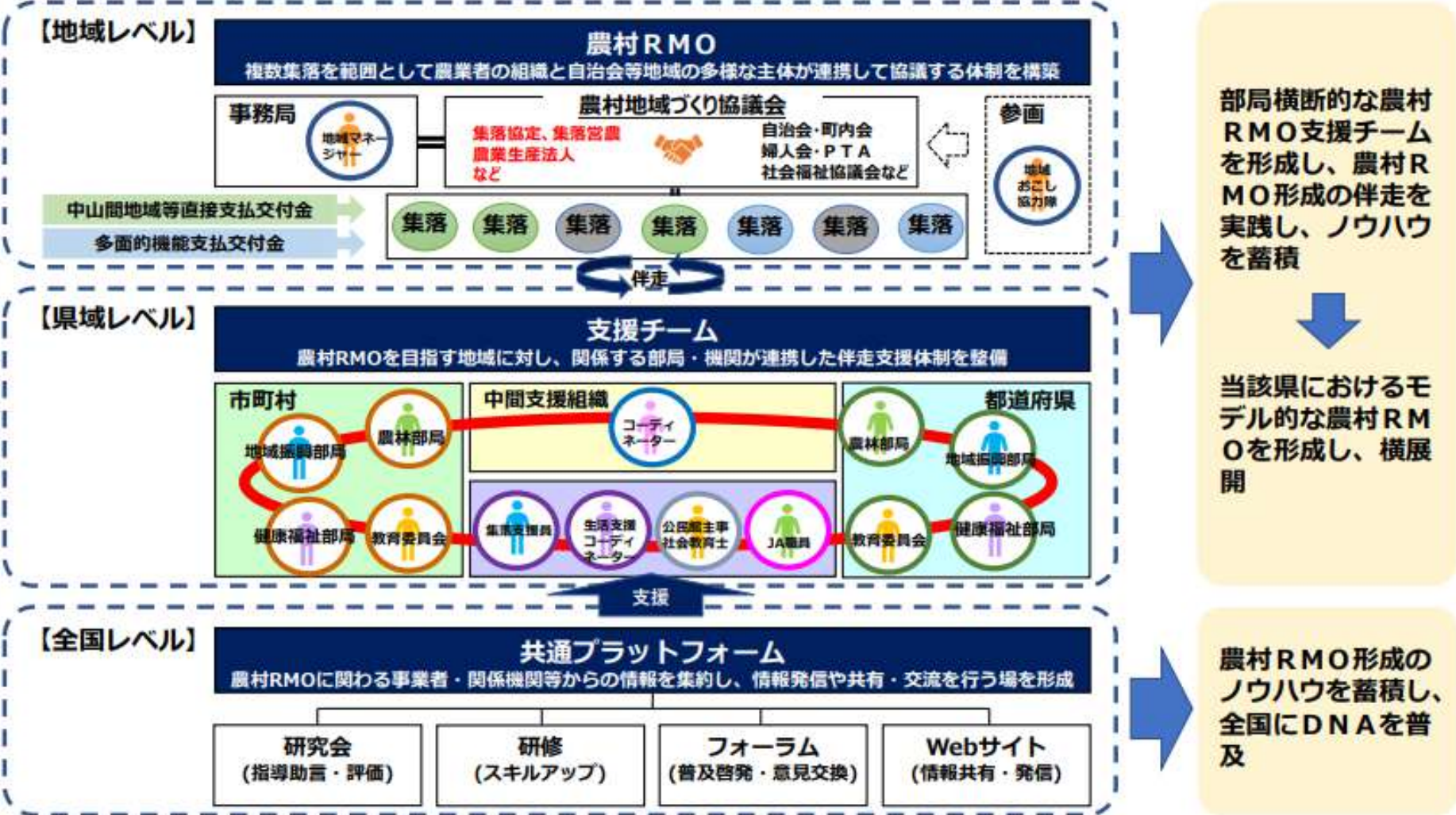
中間つまり組織と人をつなぐ役割 縦割りを打破する
地域に寄り添う 信頼関係 → 役場・県庁の重要性（伴走力）

- 西都市東米良： N P O 法人東米良創生会
- 梶原町・本山町：町役場 高知県地域支援企画員



農村RMO形成推進に関する推進体制について

- 農村RMOを効果的に形成するため、全国レベル、県域レベル、地域レベルの各段階における推進体制の構築等を支援する。



部局横断的な農村RMO支援チームを形成し、農村RMO形成の伴走を實踐し、ノウハウを蓄積

当該県におけるモデル的な農村RMOを形成し、横展開

農村RMO形成のノウハウを蓄積し、全国にDNAを普及

● 部局横断的なRMO支援チームを形成し農村RMO形成の伴走を實踐し、ノウハウを蓄積

→NPOが担うRMO伴走支援は東米良の事例は全国トップモデル

農村RMOの形成過程

- 人口減少等により集落活動が縮小し、地域力が低い時期には、小さな成功体験や共通体験を積み重ね、住民の主体性と共通認識を生み出す、「寄り添い型支援」(足し算のサポート)を行う必要。
- 継続的な活動が行われ地域力が向上する時期には、住民が作成した将来ビジョンに基づく事業計画策定や実行に対する、「事業導入型支援」(掛け算のサポート)を行うと効果生まれる。
- ※ 地域力がマイナスの時期にいきなり掛け算のサポートを行っても、かえってマイナスを大きくすることになるため、まずは足し算のサポートを地道に行うことが重要。



求められる支援型リーダーシップ

サーバント・リーダーシップ（支援型リーダーシップ）

地域の課題解決：

中間支援の重要性（人と組織をつなぐ） + 地域の事務局機能
(報告書・資金管理等)

住民の**自走力** 中間支援（事務局）の**伴走力**

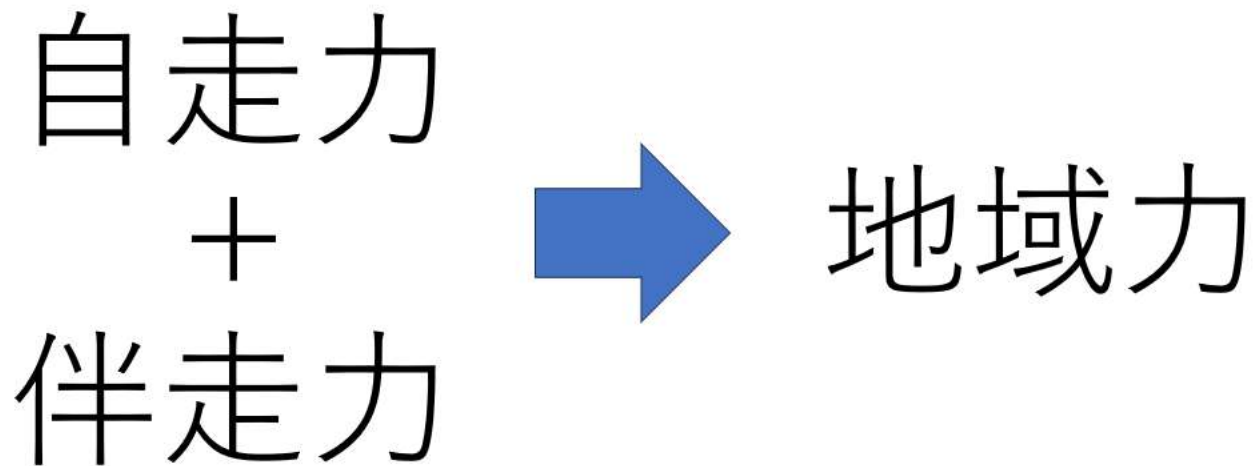
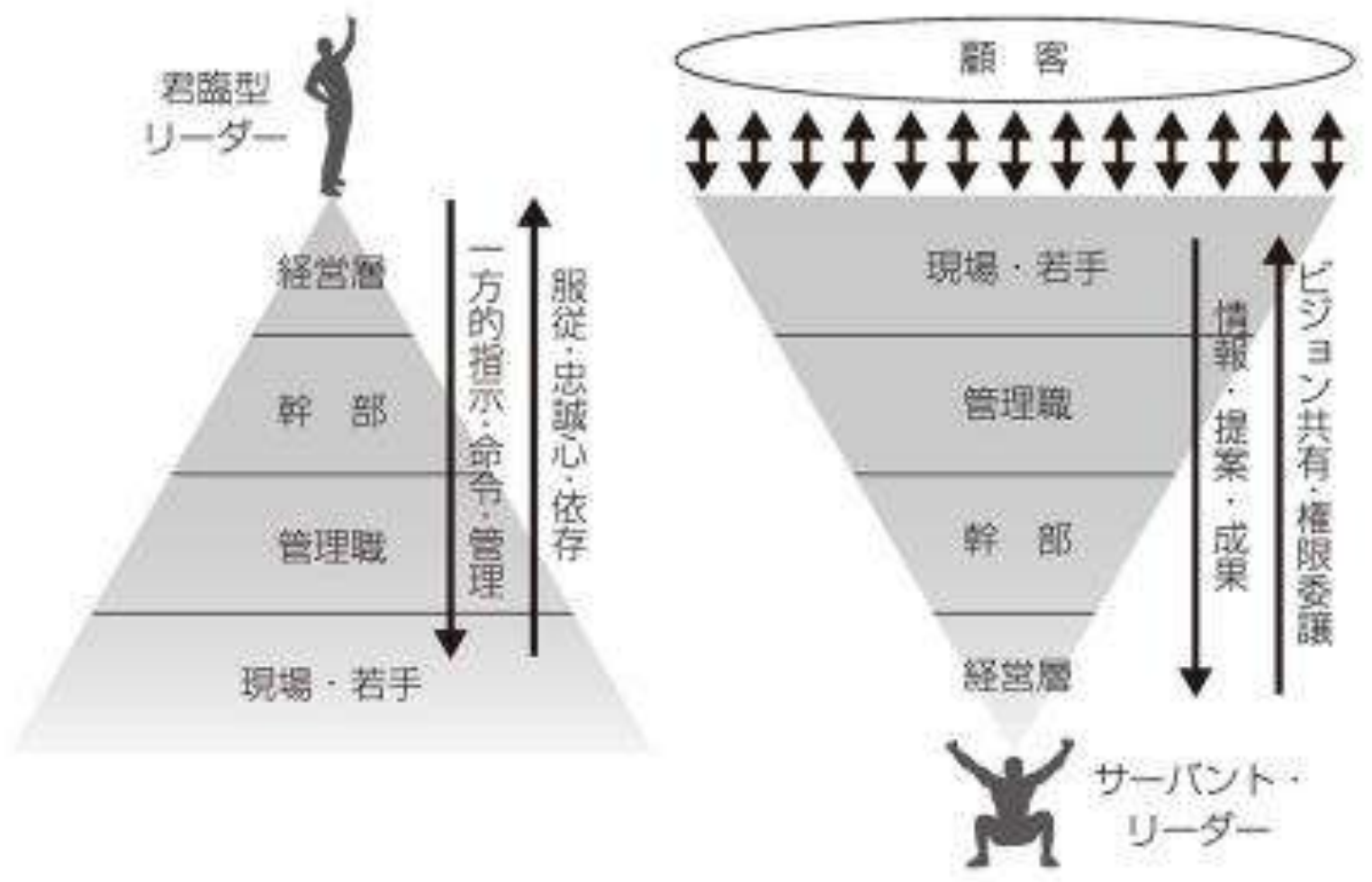


図1 君臨型リーダーとサーバント・リーダー

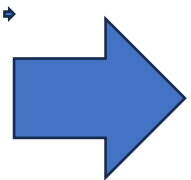


資料) 真田繁人 (2012) 『奉仕するリーダーが成果を上げる！サーバントリーダーシップ実践講座』 中央経済社

地域力概念（川上,2005）

- 「地域力」は、「ソーシャル・キャピタル」を包含する概念である。「地域力」は、「ソーシャル・キャピタル」によって支えられた「**地域の問題解決能力**」「**地域の公共（財）とその計画・管理・運営能力**」「**地域自治の推進力**」によって構成される。
- すなわち、「地域力」は、地域社会における住民の意識や行動、活動（ソフト面）のみならず、地域資源としての、地域の環境を構成する公共施設、公益施設、住居施設などのハードの状況も包含する地域の総合力的な概念という点が特徴的である（210ページ）

河上牧子（2005）「『地域力』と『ソーシャル・キャピタル』の概念に関する計画論的一考察」：『都市計画論文集』40-3 205～210.



国土・農地をどのように保全するか 次世代にどのように引き継ぐのか？

地域バリュー・チェーン分析（板倉，2017）



図 8.2 地域価値連鎖（地域バリュー・チェーン）

地域ならではの物語

東米良：

1000年続く村

本山町：

**人から人へ未来
へつなげる本山町**

地域コミットメント

地域への愛・思い